

特別養護老人ホームの整備について (令和元年度 公募見送りについて)

1 整備方法

市では在宅での生活が困難になった方の最後のセーフティネットである特別養護老人ホームの整備を計画的に進めている。

- 介護保険事業計画(3か年)に基づき、各年度の整備枠を決定
- 公募により事業者を募集

2 第7期計画における整備目標

種類		H30	R1	R2	合計
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	施設数	0	1	3	4
	定員	0	100	370	470
介護老人保健施設	施設数	0	0	0	0
	定員	0	0	0	0
介護療養型医療施設 (介護医療院)	施設数	—	—	—	—
	定員	—	—	—	—
特定施設入居者生活介護	施設数	0	0	0	0
	定員	0	0	0	0

3 第7期計画における整備状況

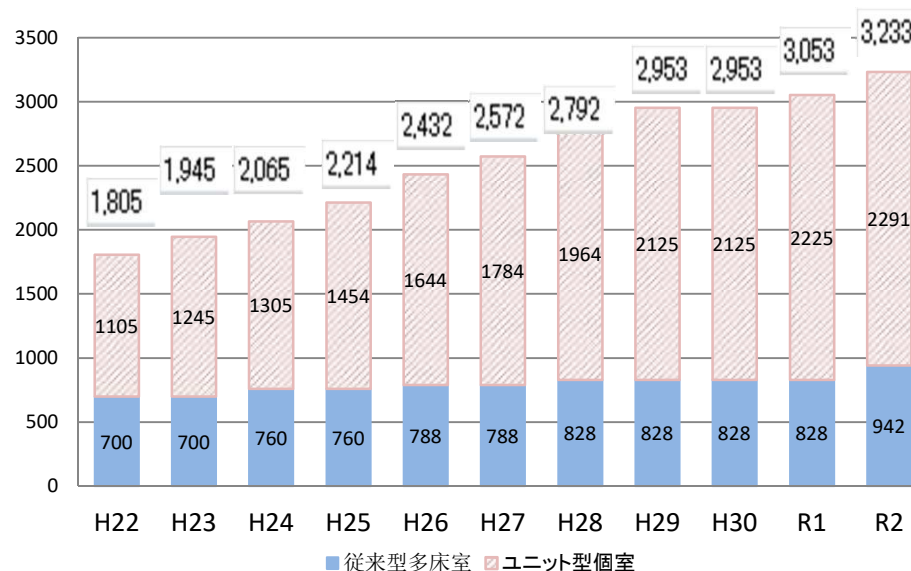
採択年度	計画審査	整備	整備	整備	整備	整備	整備
H27採択	計画審査	整備	整備	整備	整備	整備	整備
H28採択		20%補助	80%補助	採択なし			
H29採択				(福)カナの会 100床			
H30採択				(福)桐和会 180床			
R1採択					公募見送り		

注: (福)あすか福祉会外 161床 (H27採択)

法人名	施設名	定員	多床室		所在地	開所予定年月日
			多床室	ユニット		
(福)カナの会	(仮称)カーサ川口	100	—	100	大字前野宿字上野1-1外	令和2年4月1日
(福)桐和会	(仮称)川口市新井宿特別養護老人ホーム	180	114	66	新井宿257-4外	令和3年4月1日

4 整備数の推移

- 10年間(H22→R2)で1,428床増(伸び率1.79)
- 令和2年度3,233床(多床室29.1%:ユニット型個室70.9%)
- ※国指針の目標は、特養定員数の7割以上をユニット床。(達成済み)



5 令和元年度 公募見送り理由

- 今後280床が整備されることにより、特養への入所困難な状況は一時的に解消される見通しであること。
- 近隣自治体での特養整備や市内での有料老人ホーム等の整備が進んでいること。